

生きものと出会うフィールド紹介

世田谷区立二子玉川公園 所在地: 世田谷区玉川1-16-1

区内でも豊かな自然が残る立地を活かし、周辺の自然環境をつなぐ拠点として平成25年に開園しました。国分寺崖線や多摩川と園内の自然が連続性を持ち、今や貴重となりつつある身近な生き物たちの生息場所として重要な役割を果たしています。



ふれあい休憩室
ビジターセンター1階にあるスペースです。園内自然情報の紹介や多摩川調査で採集した生き物の水槽展示を楽しむことができます。

サンクチュアリ
公園が自然観察の場として魅力的になるように保護している場所です。エコスタック(※)の設置や植樹を行い生き物が暮らしやすい環境をつくっています。普段は中に入ることはできませんが園内プログラムやボランティア活動のフィールドとして活用され、バッタやカマキリ、シラカシの樹液に集まる昆虫を観察することができます。



ナチュモコガーデン
季節ごとに変わる様々な花と共にチョウやハナバチの様子を楽しむことができる憩いの場です。

いのちの森
地域の環境保全を目的に有志の区民の手で植樹されました。茂みを鳥たちが利用し、アオスジアゲハの産卵場所にもなっています。

多摩川河川敷(園外)
草むらや河畔にはバッタやトンボが暮らしています。生き物たちの行き来も多く、園内の自然との連続性を感じることができます。



やたち(二子玉川公園ビジターセンター)

私たちは来園者と自然の懸け橋となり、身近な自然に興味をもつきっかけをつくるのがビジターセンターの大切なミッションの一つと考えています。園内や多摩川をフィールドにワクワクするような発見や感動を公園サポーターや参加者と分かち合い、自然観察の面白さや命の尊さはもちろん、時に危険でもあることを伝えながら二子玉川公園ならではの体験プログラムをこれからもつくっていかねばと思っています。

ビジターセンターの ピックアップいきもの紹介 —タヌキ—



©2025 二子玉川公園ビジターセンター

二子玉川公園のビジターセンターにあるピオトープにやってくる生きもの紹介の展示でタヌキが紹介されていました。いきものしらべでのタヌキの記録は11位で、なかなか出会うことが少ない様ですが、人が立ち入れないような神社やお寺の緑地、崖の樹林地などを利用して生息するようです。また、線路沿いや多摩川、野川沿いを利用して移動しているようです。こんな場所に出かけると、出会うチャンスがあるかもしれません。

まちの生きものしらべ 2025



報告件数
ランキング
総数 **2141**件
※調査対象外の報告も含む

世田谷区では、子どもから大人までたくさんの方に参加していただく生きもの調査を2015年から毎年行っています。人も生きものも暮らしやすい世田谷であるためにはどんなことが必要か、みなさんからの報告をもとにいっしょに考えていきたいと思っています。

生きものを呼んでみよう

ヤモリ

ヤモリのこれまでの結果を見てみると、2019年から2023年までは上位3位に入っていましたが、2024、2025年は6位、5位に下がり、データ数も少なくなっています。家の庭など人の近くで暮らしていますが、ヤモリが活動するのは夕方からなので、関心を持っていないと見落としがちかもしれません。たとえばエコスタック(※)を作って、ヤモリを我が家に迎えるのも、観察の楽しみが増えるかもしれません。

2017年～2025年までの報告件数									
年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
順位	2	5	1	-	2	2	3	6	5
データ数	142	24	344	-	205	70	52	18	16

*エコスタックとは

石や木などを積み重ねて作った生きもの住み家、隠れ家。身近にある隙間も、トカゲやヒキガエル、コオロギなど、いろんな生きもの隠れ家になっています。



ヤモリの好む環境

明かりのついた窓ガラスや壁にやってくる虫(蟬)を待っている。この時が最も見つけやすい。

窓枠などの狭い隙間、植木鉢や薪の隙間など、狭くて乾燥した場所。

外灯も好きで、配電盤、近くの木の隙間などに昼間潜んでいる。

コンクリートの塀にある円筒の水抜きをのぞくと卵を見つかることがある。

事務局から 区内の自然共生サイト

世田谷区には、まちの中にながら、たくさんの生きものと出会う特別な場所があります。それが「自然共生サイト」です。屋上のお庭や駅の近くの広場など、身近な場所で、動物や植物たちが元気にくらしています。ぜひ実際に足を運んで、どんな生きものがあるのか探してみてください。見る・感じる・気づくことが、自然を大切に第一歩になります。区内にある自然共生サイトの詳細は、世田谷区ホームページ「区内の自然共生サイト」をご覧ください。

発行: 世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1
電話: 03-6432-7905
発行日: 2026年3月



調査対象の15種は、世田谷の自然環境を評価する指標種です。誰でも観察がやすく、自然環境や生態系の変化を示す可能性のある生きもの15種を、継続して調査しています。その生きものが暮らす環境の変化を確認することで、世田谷の生物多様性や生態系の維持などにつなげていきます。



これまでのニュースレターや皆さんから頂いた写真などはこちらから
世田谷区 まちの生きものしらべ 調査結果 で検索

生きものしらべ調査結果 音声コード